

日時：2018年1月30日（火） 11:40～12:00

質疑応答

質問者 A

Q：キャリア向け事業の動向について教えてください。

A：今期は通信品質改善の投資が出て増加しましたが、来期も続くかどうか各キャリアの投資動向を見極めながら考えていきたいと思えます。

Q：働き方改革分野の拡大は想定どおりなのでしょう。また、引き合いが強いソリューションは何でしょうか。

A：想定どおりの進捗ですが、事業拡大のスピードを一段階加速させるためにはどのようにすべきか考えて行きたいと思っています。直近は共創ワークソリューション「Zoom」※の引き合いが強いですが、加えて、オフィスビルの建替え需要も活発化して来ており、オフィスの移転需要も積極的に捉えていきたいと考えています。また、テレワークなども、積極的に導入されてくれば、それに併せて ICT 機器、ソフトウェアの需要も出てくると考えています。

※共創ワークソリューション「Zoom」については[こちら](#)

Q：自社内で注力している働き方改革の取り組みは何でしょうか。

A：テレワークや Zoom 等を積極的に活用し、場所にとらわれない効率的な働き方に取組んでいます。この度、本社オフィスも、その考えを取込んでリニューアルしています。

Q：海外での事業展開は、国内で行っている事業を海外に展開していくという考えなのでしょう。また、注力している分野や地域を教えてください。

A：海外事業は通信インフラ構築が中心になりますが、当社が国内で行っている事業を海外に展開していくことも考えています。地域としては、旺盛なインフラ需要がある ASEAN 諸国が中心になると考えています。例えば、ミャンマーにある合併会社では、規模は小さいですが高い成長率を実現していますし、教育事業を行っている協業先とのシナジーにより優秀な人材が確保でき、オフショア開発などの分野にも取組んでいます。

質問者 B

Q：来期の業績見通しを教えてください。

A：まだ来年度予算については検討中の段階ですが、市場環境は悪くないため、今年度

よりもある程度の増収を見込める可能性はあると考えます。とはいえ、社会インフラ分野においては、受注は回復してきたものの、売上貢献のタイミングの問題などもあり、どこまで伸ばせるか慎重に見極める必要があると考えています。利益面については、今期は収益性改善が進んでおりますが、前年度4Qには、既に改善が進んでいることから高原状態となっており、来期も同様な改善は見込みづらく、まずは、今期予想並み+aをスタートとして議論したいと考えています。

Q：社会インフラ分野の利益水準の低迷は、来期も続くのでしょうか。

A：リソースの最適化などを行うことで、来期は収益性を改善させていきたいと考えています。受注が拡大しましたので、これが来期の売上高にどれくらい結びつくかという点もきちんと見ていきたいと思えます。

Q：配当について、今期は2円の増配予想ですが、来期もこの増配ペースは継続するのでしょうか。

A：来期の配当についての議論はこれからになりますが、利益の拡大に伴い増配できるように前向きに検討したいと考えています。

Q：現預金の水準が高いですが、使い道についてはどのように考えているのでしょうか。

A：来期は中期経営計画（以下、中計）の最終年度である一方で、次の中計策定に向けた助走期間にもなるため、事業強化や人材育成、M&Aなどの成長投資を積極的に行っていきたいと考えています。

Q：M&Aを検討する際は、NECとは関係なく独自で検討するのでしょうか。また、対象としてはどのような分野を考えているのでしょうか。

A：M&Aをはじめとした投資については、当社独自で検討、判断しています。過去も短期間で何件もM&Aを実施した実績もあり、マーケット開拓やアセット補完といった目的や国内・海外を問わず、いい案件があれば積極的に行う考えです。

Q：中計の達成について、現時点では厳しく見えますが、今度NECが中計の見直しを行うタイミングでNECネッツエスアイも中計を見直す考えはあるのでしょうか。

A：当社独自の中計でありNECが中計を見直したからと言って当社の中計を見直すという考えはありませんが、来年度予算として現状を踏まえて見極めて行きたいと思えます。

以上